



令和3年2月25日
河川部水災害予報センター

令和3年1月の北陸地方整備局管内の水文・水質状況

北陸地方整備局管内一級河川の主要な水文・水質観測所における観測結果及び水質事故の状況について発表します。

なお、掲載の数値は速報値であり、確定値と異なることがあります。

令和3年1月の調査地点における概要は、次のとおりです。

○生活環境項目のBODは、1地点で環境基準値を上回る値を観測しました。

・信濃川水系 千曲川 立ヶ花橋 BOD 2.1mg/ℓ (環境基準値2.0mg/ℓ)

○健康項目で環境基準値を超えた地点はありませんでした。

○1月の水質事故発生件数は25件でした。

・北陸地方整備局管内で報告のあった水質事故は、25件でした。

・流出物質別では、油類25件でした。

・事故原因別では、取り扱い不注意11件、機器の破損4件、交通事故2件、その他8件でした。

・県別では、新潟県15件、福島県4件、富山県1件、長野県2件、石川県1件、山形県2件でした。

※主な水質事故の概要は別紙のとおりです。

なお、本資料に関するデータ等については、北陸地方整備局ホームページにおいて提供していますので、そちらをご覧ください。

(ホームページアドレス <http://www.hrr.mlit.go.jp/river/suisitu/suicon.html>)

同時資料配付記者クラブ

新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
富山県政記者クラブ
石川県政記者クラブ
福島県政記者クラブ
長野市政記者クラブ
長野県庁会見場

問い合わせ先 :

国土交通省北陸地方整備局 河川部

水災害予報センター長 長谷川 達也

代表 : 025-280-8880 直通 : 025-370-6770 FAX : 025-370-6781

北陸技術事務所(水質分析機関)

品質調査課長 原 俊彦

代表 : 025-231-1281 直通 : 025-231-8037 FAX : 025-231-1283

(別 紙)

北陸地方整備局に報告のあった主な水質事故の概要(概ね100Lを超えるもの)

発生日月	水系名	河川名	原因物質の量	事故発生場所	事故の概要
2021/1/2	信濃川	清水川一水路	灯油・約450～500L	新潟県魚沼市十日町地先	魚沼市十日町地先の工場において、大雪によりホームタンクの配管が破損し、灯油が付近の水路に流出した。原因者が配管の修繕、油の染みこんだ雪を回収し対応した。
2021/1/3	信濃川	貝喰川	灯油・約300L	新潟県見附市今町地先	見附市今町地先の給油所において、給油設備からミニローリーへの移送作業中目を離し、灯油が脇の側溝に流出した。原因者が敷地内に吸着マット設置、消防が貝喰川の貝喰1号橋にオイルフェンス設置、市が側溝出口に吸着マット設置し対応した。
2021/1/4	信濃川	田川、中沢川一水路	灯油・約200L	新潟県十日町市稲荷町地先	十日町市稲荷町地先の一般宅において、ホームタンクから小分け中その場を離れ灯油が流出した。消防が原因者宅に吸着マットを設置、ACライトを散布し対応した。関係機関が田川、中沢川を確認したが、油臭はなかった。
2021/1/13	信濃川	千体川	軽油・約200L	新潟県長岡市与板町与板地先	長岡市与板町与板地先の一般宅において、落雪によりホームタンクのコックが緩み、軽油が流出した。消防が千体川にオイルフェンス設置、県が旧黒川に架かる東橋、与板排水機場、黒川に通じる樋門排水口にオイルフェンス設置し対応した。
2021/1/21	信濃川	洪海川一道路側溝	灯油・130L	新潟県長岡市来迎寺地先	長岡市来迎寺地先の一般宅において、ホームタンクから小分け中その場を離れ、灯油が流出した。消防が周辺の道路側溝に吸着マットを設置し対応した。道路側溝の流れは緩やかで油は側溝内にとどまっており下流河川には影響がないことを確認した。
2021/1/22	信濃川	大万戸川	灯油・約200L	新潟県長岡市宮内町地先	長岡市宮内町地先の一般宅において、ホームタンクからポリタンクへの小分け後にバルブを閉め忘れ、灯油が流出した。消防がホームタンク脇に吸着マット設置した。下流の土合川で油臭、柿川で油膜・油臭を確認、県が柿川にオイルフェンスを設置し対応した。
2021/1/24	阿賀野川	阿賀野川	灯油・200L	新潟県阿賀町石間地先	阿賀町石間地先の一般宅において、ホームタンクから小分け中その場を離れ、灯油が流出した。消防が敷地内に中和剤を散布し対応した。発生源付近には側溝はなく、阿賀野川では油膜は確認されなかった。
2021/1/28	信濃川	浄土川一側溝	軽油・約200L	新潟県長岡市高島町地先	長岡市高島町地先の運輸会社において、トラックの燃料タンクの破損により、軽油が流出した。原因者が敷地内、周辺水路に吸着マット、消防が下水路に吸着マット、浄土川との合流点にオイルフェンスを設置、県が敷地周辺の道路側溝に吸着マットを設置し対応した。浄土川との合流点より下流は油膜を確認できなかった。